アドベンチャーツーリズムによる地域経済の活性化

福井県立武生高等学校

動機　福井県の経済を活性化したい

糸口を見つけるためにまずは自治体を絞る
→地域経済の停滞に苦しんでいる**池田町**が調査、
実施の対象にふさわしい

方法①

池田町を「経済活性化のモデル」とし、手段を考えていく

全国には「田舎」と呼ばれる地域が多くあるが、
池田町と重なる部分が多い「田舎」は数多くあると考え、
今回は福井県池田町のように「自然資源」が多くあり
観光資源にできる地域を対象とする。

・池田町は現状として**人口減少、少子高齢化による人手不足や経済停滞**が発生している。
・**あまり知名度がない**。
・観光客はほしいが、**一度に多くの観光客を迎える余裕はない**

方法②

自分たち、インターネットでの福井県の魅力の洗い出し

・成功例調査（先行研究の代わり）
・福井県観光連盟へのインタビュー（メール）
・研究に関連したテレビ番組の閲覧
・インタビュー　（池田町在住の方と5回対面）

池田町 アドベンチャーツーリズム モデルプラン

一日目

道の駅集合
魚釣り
昼食
かずら橋観光
宿泊　冠荘

二日目

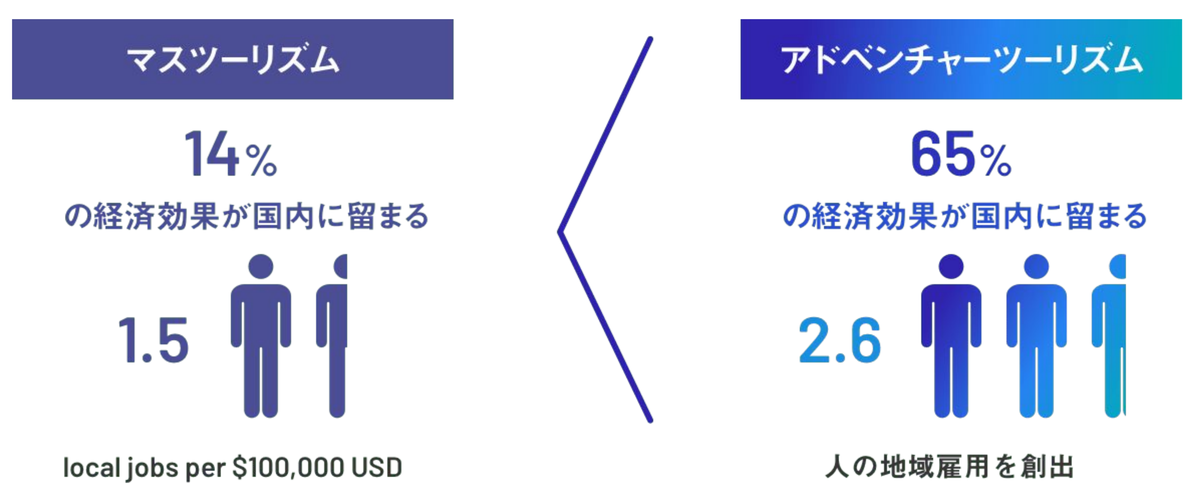
メガジップライン
アドベンチャーパーク
こんにゃくづくり体験
バーベキュー
宿泊　ツリーテント

一泊二日予定者はここで帰宅のため
キャンプはなし

三日目

アーシング（山菜採りなどをしながら自然を体験）
アーシング会場で食事（天ぷら等）
そば作り体験
道の駅で土産購入
三日目は「池田町」を全面に体験してもらいたい

一泊二日で旅行を計画する観光客が一番多いと思うが、
高い単価を実現するため二泊三日のプランの値段を低くする。
金額は二泊三日で10万円を予定。



一般社団法人・日本アドベンチャーツーリズム協議会HPより

結果

アドベンチャーツーリズムが地域活性化の鍵

アドベンチャーツーリズムとは
旅行者が地域独自の自然や地域のありのまま文化を、地域の方々とともに体験し、
旅行者自身の自己変革・成長の実現を目的とする旅行

【メリット】・一人あたりの単価が高い
・地域収入が大きい
・文化や自然環境の悪影響が少ない

アドベンチャーツーリズムを用いることにより
高い単価での観光業を行うことができ、
人手不足であっても経済活性を促す事ができる。
また、一人あたりの単価が高額で、**地域収入も高いので、多くの観光客を呼び寄せる必要がない**

考察

・**初期費用あまりかからないため行動に移しやすい。**
・**日本の田舎は森林が多いためAT行うのに適している。**
・自然や文化をそのまま利用することになるので、
環境や文化を残したまま観光資源にすることができる。
・**単価が高く、少人数でも大きな利益を生む**ため、
そこまで多くの人を呼び込む必要はないという点において**広告のハードルが低い。**
・自然や文化に触れるというシンプルなものであるため、
汎用性が高い。

こういった面で、**池田町のプランのように、何気ない文化が観光資源になりうるという点において、アドベンチャーツーリズムは日本の田舎に適しており、様々な問題を解決できる**。